

令和3年度に行う主な施策と予算

新型コロナウイルスワクチン 接種体制確保事業 1億9,844万円	新型コロナウイルスワクチンの接種体制を整備し、国の定める優先順位に従って、ワクチンの接種を行います。
東ときわ台小学校改修事業 7,701万円	東ときわ台小学校の屋上防水改修工事を行います。
シートス改修事業 6,852万円	スポーツセンター・シートスの屋上防水改修工事を行います。
小中一貫校施設整備事業 6,700万円	小中一貫校施設整備に係る基本設計および実施設計を行います。
光風台自転車駐車場再整備事業 2,580万円	光風台自転車駐車場の移転改修工事を行います。
医療用機械器具更新事業 1,960万円	国保診療所の内科・歯科用の電子カルテシステムの更新を行います。
支障木伐採業務委託事業 1,000万円	「豊能町支障木伐採計画」に基づき、緑地などの支障木の伐採を行います。
牧地区ほ場整備事業 485万円	牧地区のほ場整備事業に伴い、ほ場整備工事に必要な境界測量、詳細設計などを行います。
女性活躍推進事業 328万円	地域における女性の可能性を發揮するため、自発的取組みの支援や人材育成を行います。
地域の魅力創出事業 300万円	トヨノノ応援会の21プロジェクト継続支援と新たなプロジェクトの発掘を行い、「支え合い、助け合う」機運の醸成と個性豊かな魅力あるまちを創り上げていきます。
スクールカウンセラー活用事業 180万円	小学校にスクールカウンセラーを派遣することにより、児童・生徒・保護者に対するカウンセリング事業の拡充を図ります。
小中学校学力等調査事業 178万円	小中学校の児童生徒に対して、「学力・体力・学校生活調査」を実施し、児童生徒一人ひとりの成果と課題を把握し、今後の指導に活用します。
スマートシティ推進事業 21万円	大阪モデルのスマートシティ実現に向けて、企業や大学等と連携し、少子高齢化などの課題解決に取り組んでいきます。

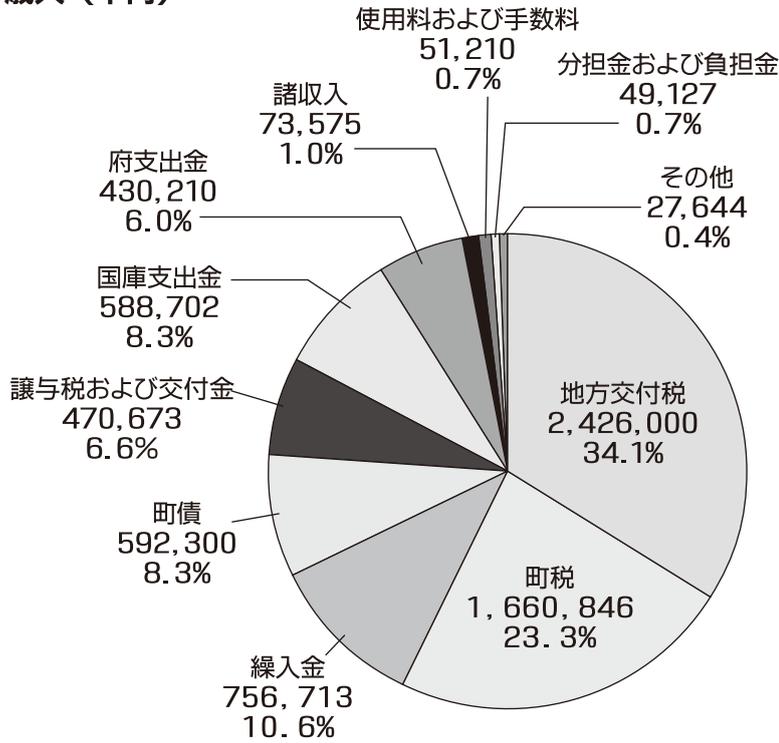
当初予算の総額

(単位：千円/%)

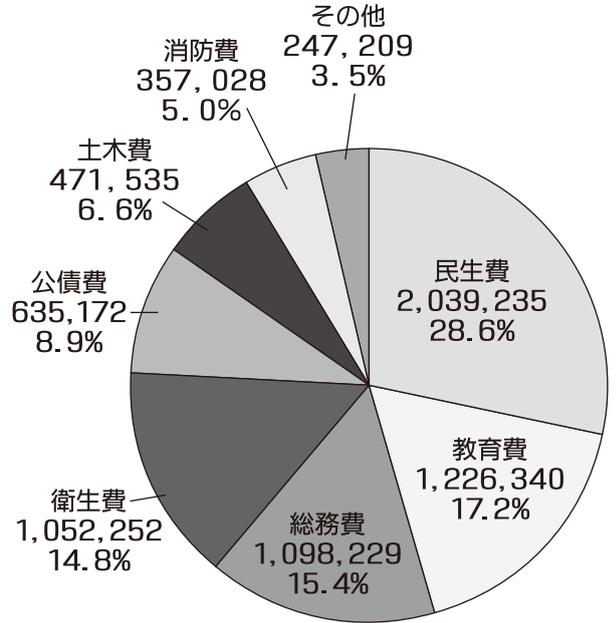
会計名	令和3年度(ア)	令和2年度(イ)	増減額 (ア)-(イ)=(ウ)	対前年度比 (ウ)/(イ)%	
一般会計	7,127,000	6,867,859	259,141	3.8	
特別会計	国民健康保険事業勘定	2,727,866	2,969,963	△ 242,097	△ 8.2
	国民健康保険診療所施設勘定	102,557	104,559	△ 2,002	△ 1.9
	後期高齢者医療	579,517	565,316	14,201	2.5
	介護保険事業勘定	2,318,109	2,430,504	△ 112,395	△ 4.6
	下水道事業	473,595	499,710	△ 26,115	△ 5.2
	小計	6,201,644	6,570,052	△ 368,408	△ 5.6
合計	13,328,644	13,437,911	△ 109,267	△ 0.8	

令和3年度一般会計当初予算 71億2,700万円

歳入（千円）



歳出（千円）



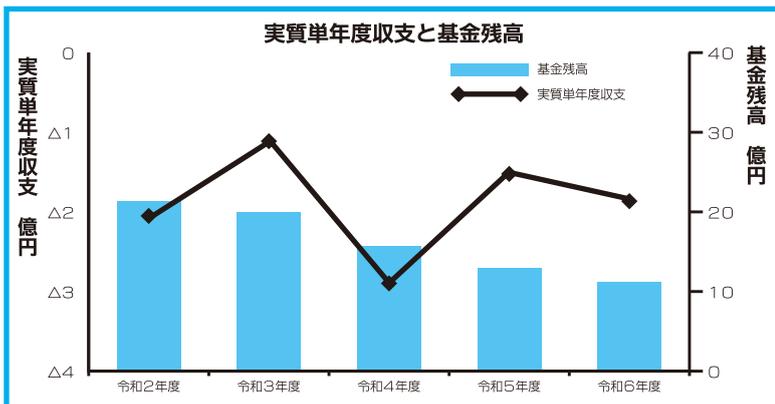
各グラフにおける%の値は、合計を100%に合わせるため、四捨五入の値と異なる場合があります。

豊能町の財政推計（令和3年3月現在）

令和3年3月現在における豊能町の財政推計（令和2年度～6年度）を作成しました。下のグラフで、折れ線グラフ（数値は左軸）は実質単年度収支※1の額を、棒グラフ（数値は右軸）は基金残高※2を示しています。

この推計は、「決算が赤字」にならないよう実質収支を±0にするため、基金を取り崩す想定で作成しています。結果として、実質単年度収支の額が常にマイナス（グラフでは△印）となっており、令和3年度以降の金額は、各年度において基金を取り崩す金額を示しています。（グラフ参照 例えば令和3年度は、約1億円の取り崩しが必要）

このように、本町における今後の財政運営は、基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況です。持続可能なまちづくりのために行財政改革を図り、健全な財政運営を行っていく必要があります。



※1 実質単年度収支

前年度からの繰越金を除いた、当該年度だけの歳入・歳出を差し引きした額（単年度収支）から、基金の積立や取崩しなど、実質的な黒字・赤字要素を控除した額です。

※2 基金残高

基金とは、町の貯金にあたるものです。グラフの基金残高は、一般会計における現金ベースによる金額です。

問=行財政課 ☎739-3414

「豊能町行財政改革プラン2019」の進捗状況について

町では、基金の取り崩しに頼ることのない健全な財政運営を目指すため、令和元年8月に「豊能町行財政改革プラン2019」を策定しました。

このプランは、「組織・機構の改革」「行政経営の改革」「財政運営の改革」「施設運営の改革」の4つの改革について具体的な項目を設定し、令和4年度までの実現に向け取組を進めているところです。今回、令和3年1月31日現在の進捗状況がまとまりましたのでお知らせいたします。

(1) 組織・機構の改革

項目	取組の内容	進捗状況
組織・機構の見直し	全庁的に組織・機構を見直し機構改革を実施します。	令和2年4月より実施中です。
事務分掌の見直し	機構改革に併せ、業務の平準化を図るために事務分掌を見直します。	令和2年4月より実施中です。
職員の任用方法の多様化、任用基準の見直し	効率的な人員配置のために、任用方法の多様化を図るとともに任用基準を見直します。	令和2年4月より実施中です。

(2) 行政経営の改革

項目	取組の内容	進捗状況
とよのんPR事業の活用方法の検討	とよのんPR事業の全部または一部を民間事業者やNPO等への委託を検討します。	費用対効果を見極めながら引き続き検討します。
自治体クラウドの推進	本町、河南町、千早赤阪村の3町村で基幹系以外のクラウド化の研究・協議を進めます。	島本町が新たに参加します。 (令和3年4月稼働予定)
「広報とよの」など広報媒体の見直し	ページ数、掲載内容、紙面を工夫し、情報発信機能を高めます。	随時、実施中です。
消防のさらなる広域化の検討	北摂7市3町での消防通信指令システムの共同運用について、協議、検討します。	令和3年1月に消防通信指令事務協議会を設置し、令和6年4月共同運用開始を目指します。
国保診療所の持続可能な運営方策の検討	医療の充実を図るとともに、効率的な運営を目指すため指定管理者制度等についても検討します。また、将来的に一般会計に頼らない自主運営に向けた方向性も併せて検討します。	毎日診療に向けて、市立池田病院と協議を継続中です。
右近の郷の運営形態の検討	さらなる民間活力の導入や指定管理者制度などの運営形態について検討します。	イベント参加者などは新型コロナの影響により減少していますが、引き続き関係機関と連携を図りながら参加者等の増加に向けて取組んでいきます。
ごみ収集業務の民間委託拡充などの検討	現行のごみ収集業務の体制やコストを踏まえ、ごみ収集のあり方について、民間委託の拡充など多面的に検討します。	本年度職員1名を削減し、さらにコスト削減に向けた体制などについて検討中です。
各種団体の自立化	各種団体の事務局事務補助の見直しを進めます。	各部署において、検討・協議中です。
事業評価を活用した効率的な行政経営の実現	事業評価の結果を適切に予算に反映し、事業の選択と集中を図ります。	各部署において取組中です。

(3) 財政運営の改革

項目	取組の内容	進捗状況
広告収入の増加	新たな広告媒体を活用し、広告収入の増加を図ります。	近隣市町村の情報を収集し仕様を検討します。
ふるさと納税の充実	新規返礼品の開拓や新規寄付者、リピーターの増加など、ふるさと納税の充実を図ります。	返礼品の追加と新規の返礼品事業者の追加や、新たな納税代行業者の追加を行いました。
コインパーキングの導入の検討	ときわ台駅前などでのコインパーキングの導入を検討します。	今年度に旧社会福祉協議会建物を解体し、コインパーキングの整備を予定しています。
遊休地の売却	町有の遊休地について、売却可能なものから順次売却します。	令和2年度に競争入札を実施し、一部売却を行いました。
施設駐車場の有料化の検討	第1、第2総合駐車場および西公民館駐車場の有料化を検討します。	第1総合駐車場は令和3年3月末をもって閉鎖、第2総合駐車場および西公民館駐車場の有料化については引き続き検討します。
町バスの廃止	町の役割の最適化の観点から廃止します。また、その代替方法についても検討します。	廃止を念頭に代替措置および住民負担などについて検討します。
人件費の抑制手法の検討	早期退職者加算制度、その他人件費を抑制する方法を検討します。	検討中です。
働き方改革の推進	時間外勤務の事前申請、ノー残業デーの徹底を図ります。	時間外勤務の事前申請制を徹底中です。
新電力の検討(新電力会社の設立)	会社設立のメリットを研究会議で検討していきます。	令和2年7月に新電力会社「株式会社能勢豊能まちづくり」を設立し、10月より電力供給を開始しています。
新電力の検討(単独導入の検討)	町単独での新電力の導入を検討します。	新電力会社から電力を受給中です。
土地開発基金の廃止	社会情勢の変化に伴い基金のあり方を整理し、統合も含めて適正な基金管理に努めます。	令和元年度末で廃止し、公共施設整備基金に編入済です。
基金の効果的な運用	基金に属する現金を確実かつ効率的に運用します。	債券による運用を実施しています。
公共下水道事業の公営企業会計の導入	地方公営企業法を適用し、発生主義、複式簿記を採用することにより、下水道事業の透明性の確保や健全化を図ります。令和5年度からの移行を目指します。	令和5年度の移行に向けて令和3年度から移行支援業務を開始します。
ごみ収集の有料化	ごみ収集の有料化について検討します。	「第2次豊能町ごみ処理基本計画」の見直しに併せて新たな施策を検討します。
ユーベルホールの自主事業の運営方法の見直し	自主事業の内容を見直し、効率的な事業運営を行います。	費用負担が少額となるロビーコンサートを中心に事業を展開中です。
負担金、補助金等の見直し	各種負担金や補助金などによる支援がより効果的、効率的なものとなるように見直しを検討します。	各部署において、検討・協議中です。

項目	取組の内容	進捗状況
類似事業の一括発注	担当部署は異なるが、業務内容が類似する事務事業については、スケールメリットを生かせるよう一括発注することについて検討します。	各部署において取り組み中です。
内部管理経費の節減	光熱水費、消耗品費など、少額なものでも全職員が節約に継続して取り組みます。	各部署において取り組み中です。

(4) 施設運営の改革

※プロジェクトチーム

項目	取組の内容	進捗状況
公共施設のあり方の検討	「公共施設再編検討委員会」を設置し、本庁舎を含めたすべての公共施設のあり方を検討します。	公共施設再編検討PT※を立ち上げ、委員会の開催に向け検討中です。
ユーベルホールの施設設備のあり方の検討	施設設備の簡素化などを検討します。	個別施設計画の策定により、施設の維持には多額の費用負担が必要であることが判明したところです。公共施設再編検討委員会において今後の方針を検討します。
光風台自転車駐車場の合理化	需要調査の結果に基づき第2駐車場および駅前ロータリーを改修し、光風台自転車駐車場の合理化を図ります。	令和2年度に実施設計を完了し、今年度に改修工事を予定しています。
街路樹の適正規模の検討	不要な樹木の伐採など適正規模について検討し、管理経費を削減します。	新光風台地区は完了しましたので、今後別の地域で順次実施します。
公園の樹木の適正規模の検討	不要な樹木の伐採など適正規模について検討し、管理経費を削減します。	令和2年度に策定しました「支障木伐採計画」に基づき、今年度から伐採を実施します。
都市公園のあり方の検討	大学・民間企業と連携し、都市公園のあり方を共同研究するとともに、管理経費の削減方法についても検討します。	武庫川女子大学と連携し、昨年10月にセミナーを開催しましたが、新型コロナウイルスの影響により共同研究は今年度以降に実施する予定です。
保育所および幼稚園の再配置	西地区の保育所と幼稚園を統合し、保幼連携型認定子ども園を開設します。	先進事例の検討および視察を実施しました。

トヨノノ PORTAL



曲がりくねって、ただいま。
大阪府 豊能町

トヨノノ暮らしのとびらをあけよう

地域が発信、トヨノノ魅力豊能町の本当の魅力を伝えるポータルサイト「トヨノノPORTAL」

<https://toyonono-portal/>

